



県民の皆様

あけましておめでとうございませす

今年の干支は「申」ですが、猿(さる)といえば「悪いことが去る(さる)」。「病に勝る(まさる)」。「家庭円(猿)満」などにつながることから、縁起が良いとされています。今年が、県民の皆様一人ひとりにとって、健康に恵まれ、幸福に満ちた素晴らしい一年となることを心から願っております。

さて、現在、我が国は急速な少子高齢化の進行と人口減少という、かつて経験したことのない大きな課題に直面しており、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり地域の活力を維持していくため、中長期的な視点に立ちながら実効性のある取組を進めていくことが急務となっています。

このため、県では、昨年10月に「とちぎ創生15戦略」を策定いたしました。「とちぎに安定したしごとをつくる」など四つの基本目標を設定し、目標達成に向けた15の戦略により、とちぎの未来創生に果敢にチャレンジして参ります。

また、県政の基本指針となる「とちぎ元気発信プラン(仮称)」の策定を進めております。プランに掲げる本県の目指す将来像「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な」とちぎ」の実現に向け、五つの重点戦略により、女性の活躍推進など、とちぎを元気にする取組を積極的に推進していくこととしております。

2020年には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。大会の二年後に本県で開催する国民体育大会・全国障害者スポーツ大会も視野に入れながら、キャンプ地誘致はもとより、文化・芸術の振興や観光誘客など、戦略的な取組を展開して参ります。

今年、新たなプラン等をスタートさせる重要な年であります。私は、県民の皆様とともに、誰もが未来に希望を抱き、ふるさとに誇りを持つとちぎづくりに全力を傾注する決意でありますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。

平成28年1月

栃木県知事 福田富一



新春知事対談

スポーツの分野において本県で活躍されている田臥勇太さんと赤羽有紀子さんのお二人をお迎えし、「夢を持ち、かなえることの大切さ」について、知事と対談していただきました。

夢を追いかけて

夢のきっかけ

知事 新年あけましておめでとうございます。それでは早速、本日のゲストをご紹介します。プロバスケットボールプレーヤー、リンク栃木ブレックスの田臥勇太さん。五輪の女子1万メートルなどで活躍され、ママさんランナーとしてもすっかりおなじみの赤羽有紀子さんです。



栃木県知事 福田 富一

二人 あけましておめでとうございます。

知事 田臥さんは昨年の上野予選で日本代表として活躍され、今シーズンはブレックスもいいスタートを切りましたね。

田臥 そうですね。開幕から順調に勝ち星を重ねることができ、チームのみんなと頑張っています。

知事 今年は優勝を目指してください！

田臥 はい、頑張ります。

知事 赤羽さんは、2年前に引退発表をされた後も各地で走っているそうですね。

赤羽 はい。マラソン大会にゲストランナーとして参加したり、学校やイベントで講演活動をしたりしています。

知事 現役選手として走ると、引退後にゲストとして走るとでは、やはり違いますか？

赤羽 全然違いますね。現役の時は、勝負ということで闘志を燃やしていたのですが、今は市民ランナーの皆さんと楽しくハイタッチしながら走っています。

知事 健康的ですね。赤羽さんが陸上を始めたきっかけは何ですか？

赤羽 小学1年生の時に、地元の芳賀町で開催されたマラソン大会に出場したのがきっかけです。走ることが好きだったので、中学では陸上部に入りました。

知事 陸上選手として世界で活躍することは、子どもの頃からの夢でしたか？

赤羽 小学校の卒業文集には、大学に進学して駅伝の全国大会で走ることを将来の目標として書いていましたね。高校の時はけがが多く、よく貧血にもなったので、スポーツトレーナーを目指そうと思った時期もあったのですが、その目標を思い出して、もう少し競技を続けてみよう、と、大学で女子駅伝部に入り、その後は実業団のホクレンに進みました。

知事 陸上の一本道をずっと来たわけですね。バスケットボールの選手になろうと思ったことはなかったんですか？(笑)

赤羽 実は、バスケットボールが苦手で。ドリブルしながら走るというのが…。田臥さんは本当にすごいと思います。

田臥 いやいや。

知事 田臥さんは、どういうきっかけでバスケットボールを始めたのですか？

田臥 3歳上の姉がミニバスケットをやっている、練習についていって見ているうちに、自然と自分から始めていました。

知事 小さい頃から、アメリカプロバスケットボールリーグのNBAでプレーすることが夢だった？

田臥 父がNBAの試合をビデオで録画してくれていて、ずっと見ていたので、その頃から憧れを抱いていましたね。

夢の実現 その先へ

知事 NBAのコートでプレーしている時は、どんなことを考えていましたか？

田臥 コートに立ったときは夢がかなった瞬間でしたが、そこからチームに残り続けるという新たな目標が生まれました。夢がかなったらそこで終わりではなく、次の目標にチャレンジしなきゃいけないんだと実感しましたね。

知事 その経験を積んで帰国されて、たくさんあるチームの中でブレックスを選んでくれたのは、なぜでしょうか？

田臥 アメリカでは、試合に出る機会が少なくなってしまっていて…。「試合で自分のパフォーマンスをアピールしたい」という思いから日本でのプレーを考えた時、当時のブレックスの監督が高校の恩師の加藤さんだったことが理由の一つでした。



田臥 勇太さん
男子プロバスケットボール選手で、日本人初のNBAプレーヤー。現在はリンク栃木ブレックスに所属し、今シーズンで8年目

知事 田臥さんが栃木のチームにいるというのは、我々の誇りです。栃木でのバスケットボール生活はどうですか？

田臥 栃木の皆さんは本当に温かく応援してくださるし、いればいるほど人の温かさを感じます。それから、とても住みやすいですね。東京にも行きやすくて、自然もおいしいものもたくさんあって。どんどん栃木が好きになっています。

知事 ファンの皆さんは「勇太ー！」「勇太くーん！！」って呼びますよね。

田臥 どこに行っても声を掛けてくださるので、非常にうれしいです。

知事 地元の声援といえば、芳賀町出身の赤羽さんは、県内を走ると多くの人に声を掛けてもらえたんじゃないですか？

赤羽 芳賀町にある家の周りを走ることが多かったんで、近所の皆さんの応援がいつも励みになっていました。



現役時代の赤羽さん(山陽女子ロードレース・ハーフマラソンの部で2連覇/平成24年)

知事 出産後もママさんランナーとして選手活動を続けるには、相当の決意が必要だったのではないですか？

赤羽 そもそも結婚を機に引退して実家の農業を継ごうと思っていたのですが、ホクレンの当時の監督が、夫を専任コーチにして栃木で競技を続けてはどうかと行ってくださって、続けることを決めました。その半年後の記録会で、6年ぶりに5千メートルの自己ベストを出すことができ、五輪や世界選手権出場のための参加標準記録まであと2.3秒という記録だったので、初めて世界大会を意識しました。でも、夫も私も子どもが欲しかったので、「出産して競技を続けてみよう」ということになったんです。

知事 新たな夢を持って、夫婦で手にした五輪出場だったのですか。

赤羽 はい。北京五輪では思うような結果が残せなかったのですが、またそこで「4年後のロンドン五輪にマラソンで出場したい」という新たな夢ができました。

知事 お二人とも、夢を一つ実現すると、また次の大きな夢に挑戦するということをしているのですか。

夢をかなえるまでの苦労と努力

知事 赤羽さんが、出産後に世界を目指すため、苦労したことを教えてください。

赤羽 娘が産まれてからは、それまで自分中心だった生活が娘中心に変わって、時間の取り方が難しくなりました。でも、娘がいたから頑張れたので、その存在はとて大きいです。

田臥 お子さんが産まれる前と後で、アスリートとして、どのようにモチベーションを保ってきたのですか？

赤羽 それまでは、ただ走るのが好きで、楽しくて走っていたというところがあったと思います。娘が産まれてすぐ実感したのは、「たくさんの人に支えられて競技を続けることができているんだ」ということ。夫の両親も私の両親も娘の面倒をよく見てくれて、そういう皆さんの支えに対して恩返しをするためには結果が全てだと思い、そこから陸上競技に真剣に取り組むようになりましてね。自分が一番変わったと思うのは、食生活。栄養バランスを考え、いろいろなものを食べるようになりました。

知事 田臥さんも、輝かしいキャリアの裏には相当な苦労があったと思いますが？

田臥 アメリカの大学に留学した時に初めて大きなけがをして、そのシーズンはプレーできなかったり、NBAで挑戦している時はチームに残るのが大変だったり…。特にアメリカでは、ユニホームを着ることの厳しさを経験しました。

知事 どのようにして、その山を乗り越えてきたのでしょうか？

田臥 とにかく毎日、自分のベストを尽くそうとしていました。NBAのすごい選手たちは、失敗しても全然気にしないで次に向かって気持ちを切り替えていたので、そういうポジティブな気持ちを持つことを見習って、頑張っていましたね。

赤羽 私もけがが多くて、その時はどうしても落ち込んでなかなか立ち直れませんでしたね。

ところで、バスケットボールの選手といえば背が大きいというイメージがありますが、体格にあまり恵まれていない田臥さんが、こうして世界で戦ってこられた力とは何だったのでしょうか？

田臥 コートでは、正直あまりサイズの差を感じないです。「気持ちが一番大事だ」とアメリカのコーチからも言われました。小さくても自分にしかできないことがあるので、そういうアドバンテージを生かしたいと思ってやっています。



NBL(ナショナル・バスケットボール・リーグ/日本)でプレーする田臥選手

知事 私もバスケットボールをやっていたので思うのですが、身長の高い人は大きい人の、そうでない人はそうでない人なりの活躍の場があって、自分の能力を発揮できる場面が広がっていますよね。田臥さんのように、俊敏な動きで敵をかいくぐってシュートを決めるとか。

田臥 気持ちいいですね。

赤羽 すごい！カッコいい。

未来のアスリートへ

知事 若きアスリートたちにアドバイスがあればお願いします。

田臥 失敗しても、次に向かって進めば必ず成功できる、何かを得られると思います。失敗を恐れずにいろいろなことにチャレンジして、目標に向かって練習に励んでもらいたいです。

赤羽 私は、小さな目標を一つずつクリアしていくことで大きな目標を見つけることができました。最初から大きいものでなくても、目標や夢を持って日々を過ごしてもらいたいと思います。

知事 お二人のように世界と戦えるアスリートを栃木県で育てていくためには、何が大切だと思いますか？

田臥 栃木県にはプロチームがたくさんありますし、僕らも子どもたち向けにバスケットボール教室を開いたり地域貢献活動をやっていたりするので、そういう場でプロの選手とふれあって身近に感じることで、より高い目標を持ってもらえるのではないかなと思います。

赤羽 私はずっと地元で活動していて、困ったことがなかったし、栃木は自然豊かでスポーツをする環境も整っていると感じています。私も陸上教室やマラソン大会などのイベントで子どもたちと一緒にふれあって、いろいろなスポーツがあることを伝えていけたらと思います。



赤羽 有紀子さん

芳賀町出身・在住の元長距離走選手。北京五輪(5千、1万メートル)出場。引退後は、ホクレンスポーツアンバサダーとして競技の普及に尽力

知事 県では、国際大会の事前キャンプ地の誘致などに積極的に取り組んでいます。昨年8月には、中国の北京で開催された世界陸上に出場するハンガリーの選手団に、宇都宮市でキャンプをしていただきました。キャンプの期間中には、中学・高校生がハンガリー選手団のコーチから直接指導してもらった貴重な機会も得ることができました。今後も世界を目指すアスリートを育てる環境を作っていくよう、精一杯取り組んでいきます。

これからの夢

知事 最後に、お二人の今後の夢や目標をお聞かせください。

田臥 もちろんブレックスの優勝を目指して戦い続けるということ、さらに、日本代表が昨年アジア大会でベスト4に入っている五輪出場の可能性を残していますので、その可能性がある限りチャレンジしたいというのが今の大きな目標です。

赤羽 私は、走る楽しさやスポーツをすることの素晴らしさを、たくさんの人に伝えていきたいと思っています。

知事 お二人のように誰もが大きな夢を持ち、それをかなえることができるよう、県としても全力で応援していきますので、県民の皆さまには、今年も県政運営へのご理解とご協力をお願いします。



掲載内容は、県広報番組「新春知事対談」の内容を要約したものです。

募集・試験

「とちぎの森づくり」ホームページ会員募集

●登録すると、森づくり活動やイベントなどの情報をホームページに掲載できるほか、新着情報がメールで届きます
料無料 とちぎの森づくり 検索
問県環境森林政策課 ☎028-623-3294

とちぎ元気発信プラン(仮称)への意見募集

●平成28年度からの県政の基本指針である栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン(仮称)」の策定に当たり、これまでの検討状況を取りまとめた第2次素案へのご意見を募集しています●資料は、県民プラザ、各県民相談室、県ホームページで閲覧できます 1/11(月・祝)
問県総合政策課 ☎028-623-2206

2016マロニエメイツ募集

●みどりづくりの普及啓発活動や県のイメージアップ活動を行います●応募資格:県内在住で高校生を除く(卒業見込みは可)満18歳以上の方 **定**3名●面接審査:2/28(日)午後1時30分～
 1/29(金)●応募方法などは問い合わせを **2015マロニエメイツ**
問とちぎ環境・みどり推進機構 ☎028-643-6801



「とちぎ農業未来塾」受講生の募集

●県内で本格的な農業経営を始めたいと考えている方を対象とした研修●農業大学校(宇都宮市) 2/1(月)●コース・研修期間・費用などは問い合わせを
問同校 ☎028-667-4944

栃木県出資法人等職員採用統一試験

●1次試験:1/31(日)
 ●採用予定法人(職種・人員):①栃木県国際交流協会(事務職1名)②とちぎ建設技術センター(事務職1名、土木職1名)③栃木県道路公社(土木職1名)④栃木県住宅供給公社(建築職1名)●申込期間:1/5(火)～19(火)必着●受験資格・申込方法などは各法人に問い合わせを
問①☎028-621-0777②☎028-626-3186③☎028-622-6598④☎028-622-2539

栃木県子ども総合科学館 解説嘱託員採用試験

●1次試験:2/6(土)●採用予定人員:3名程度●申込期間:1/5(火)～31(日)●申込方法などは問い合わせを
問同館(宇都宮市) ☎028-659-5555

催し・講座

看護職員再就業支援研修

●対象:看護職の資格を有する方●国際医療福祉大学塩谷病院、宇都宮中央病院 **料**無料●日程・コース・定員・申込方法などは問い合わせを
問栃木県看護協会 ☎028-625-6141

医療の安全を考える講演会

●1/14(木)午後1時30分～5時●栃木県自治会館(宇都宮市)●テーマ:①患者と医療者のコミュニケーションによる情報共有②感染防止対策のためのリスクコミュニケーション **定**200名程度(先着) **料**無料●当日直接会場へ
問県医療政策課 ☎028-623-3085

講習会「高齢者の住まい探しと資金計画」

①1/14(木):佐野市中央公民館
 ②2/3(水):県庁本館6階大会議室1
 ※いずれも●午後2時～3時45分
 ●高齢者向けの多様な住まいについての講習会 **定**70名(先着) **料**無料 ①1/12(火)②1/29(金)●電話で申し込みを
問県住宅課 ☎028-623-2483

第4回いちかい図書館まつり

●1/23(土)午前9時30分～午後3時●市貝町立図書館●おはなし会、本のリサイクル市、工作コーナーなど●当日直接会場へ
問同図書館 ☎0285-68-4380

栃木こころの絵画・書道展

●2/2(火)、3(水)午前9時30分～午後6時(3日は午後4時まで)●県総合文化センター(宇都宮市)●精神障害者が作業療法やデイケア等を通じて創作した作品の展示 **料**無料●当日直接会場へ
問県障害福祉課 ☎028-623-3093

不動産取引セミナー

●2/3(水)午後1時30分～4時30分●県総合文化センター(宇都宮市)●テーマ:失敗しない不動産取引(売買) **定**400名(先着) **料**無料 1/20(水)●電話で申し込みを
問県住宅課 ☎028-623-2488

とちぎの企業!魅力体験バスツアー

●2/5(金)、8(月)●業界理解のため、県内企業をバスで訪問し職場見学を行います●対象:県内企業に就職を希望する学生、卒業後3年以内の未就職者等 **定**各回20名(先着) **料**無料●見学先・申込方法などは問い合わせを
問県労働政策課 ☎028-623-3224

なす高原自然の家「ふれあい広場」

●3/5(土)～6(日)1泊2日●対象:障害のある方、特別支援学校・学級に通う方とその家族●雪遊びや調理活動など **定**15家族(抽選)※ボランティアも募集しています **料**大人6,000円、高校生以下は年齢による●申込期間:1/5(火)～2/5(金)●申込方法などは問い合わせを
問同自然の家(那須町) ☎0287-76-6240

自然とふれあう

奥日光いきものつながり調査会

日光自然博物館 ☎0288-55-0880
 ●同館ガイドと一緒に、スノーシューを履いて湯元湖周辺でいきもの観察
 ●1/23(土)午前10時～午後0時30分
 ●集合場所:湯元第一駐車場(日光市)
 ●対象:親子、大人 **定**40名(先着) **料**無料 1/16(土)

森の集い

県民の森管理事務所 ☎0287-43-0479
 ●星ふる学校「くまの木」に泊まり、県民の森で星空観察
 ●2/13(土)～14(日)1泊2日●くまの木(塩谷町) **定**6組25名程度(先着) **料**大人5,800円、小中学生5,250円、幼児(3歳以上)4,200円●申込期間:1/8(金)～29(金)

企画展「春を告げる花展」

とちぎ花センター(栃木市)
 ☎0282-55-5775
 ●プリムラやチューリップなどを展示し、一足早い春の訪れを演出
 ●2/14(日)まで※鑑賞大温室入館料:大人400円、子ども200円



案内

就職応援メンタルトレーニング

●1/19(火)、2/16(火)午後2時～3時30分(各日内容は別)●県庁昭和館●面接のスキルアップを目指すメンタルトレーニング(講師:臨床心理士)●対象:県内に就職を希望する大学等卒業予定者、卒業後3年以内の未就職者等 **定**各20名程度(先着) **料**無料●電話で申し込みを
問とちぎジョブモール ☎028-623-3226

身体障害者巡回相談

①1/21(木):芳賀町保健センター
 ②2/18(木):壬生町保健福祉センター
 ※いずれも●午後2時～4時
 ●肢体に障害がある方の補装具・医学・生活相談 **定**5名(先着) **料**無料 ①1/8(金)②2/8(月)●在住する市町の障害福祉担当課へ電話で申し込みを
問とちぎリハビリテーションセンター ☎028-623-7010

福祉のお仕事ミニ面談会

●求人事業所との面談、相談コーナー●対象:地域を限定して福祉の仕事をお探しの方
 ●1/22(金):佐野市総合福祉センター
 ●1/29(金):いきいきふれあいセンター(那須塩原市)
 ●2/4(木):栃木市栃木文化会館
 ※いずれも●午後1時～3時30分 **料**無料●当日直接会場へ
問栃木県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター ☎028-643-5622

とちぎ就職支援合同面接会

①2/2(火)②2/3(水)※いずれも●午前9時30分～午後4時●県庁東館4階講堂●対象:県内で就職を希望している方(①平成28年3月大学等卒業予定者、卒業後3年以内の未就職者②一般求職者) **料**無料●当日直接会場へ●参加企業(各日50社程度)などは問い合わせを
問県労働政策課 ☎028-623-3224

2016とちぎ障害者合同就職面接会

①2/3(水):カシマウエディングリゾート(大田原市)
 ②2/5(金):栃木商工会議所(栃木市)
 ③2/12(金):ホテル東日本宇都宮
 ※いずれも●午後1時～4時
 ●県内での就職を希望する障害のある方を対象にした合同面接会 **料**無料●電話で申し込みを(求人事業所についてはお問い合わせください)
問①ハローワーク黒磯 ☎0287-62-0144
 ②ハローワーク足利 ☎0284-41-3178
 ③ハローワーク宇都宮 ☎028-638-0369

県職員・警察官業務説明会

●2/7(日)午後1時30分～●都道府県会館(東京都)●仕事内容などの職種等別説明会(参加・不参加は採用試験の合否に関係ありません) **定**144名(先着)●申込期間:1/7(木)～2/4(木)●県ホームページの電子申請システムで申し込みを
問県人事委員会事務局 ☎028-623-3313

